

## 重点施策 15 図書館の蔵書及び機能の充実

### 【施策方針】

地域文化の創造・発展に寄与するとともに、誰でも気楽に利用できる図書館を目指し、機能と経営の充実を図る。市民の読書意欲に応え、教養が深まる読書活動を推進する。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 図書館資料の整備及び充実
- ② 読書活動の推進及び読書団体等の育成
- ③ サービスの充実

#### (2) 主な施策・事業の実施状況

##### ① 図書館資料の整備及び充実

図書館は、蔵書の充実が最優先課題である。予算編成時に、蔵書購入費用が削減の対象とならないように財政部門に対して説明している。

蔵書の選択については、図書館流通センターから出される新刊リスト、ベストセラー、市民からのリクエストにより決定した。

##### ② 読書活動の推進及び読書団体等の育成

ボランティアグループによるおはなし会、子育てサロン・保育所・小中学校への読み聞かせ訪問、図書館いこいこ！事業、出張図書館など各機関と連携して読書活動を推進した。おはなしボランティア養成講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

##### ③ サービスの充実

図書館のコンピュータシステムを適切に維持管理し、利便性を確保した。

予約・リクエスト・相互貸借・レファレンス(調査)などのサービスを迅速に実施した。

### 【事務事業点検評価委員意見】

- 図書館で本を探すと、欲しいものが見つからないことがある。その場合、相談をすると、一緒に探したり、注文をしたりして、希望の本を読むことができた。大人も子どもも、自分の読みたい本に出会うと、友だちに出合ったようなうれしい気持ちになる。八幡浜・保内両図書館とも、蔵書がとても充実している。そして、サービスも行き届いている。今後も、予算確保に努め、新刊・ベストセラー、児童書などを揃え、大勢に喜んで利用される図書館であってほしい。
- 子どものときの本との出会いは、大変重要で一生心の支えとなるものである。しかし、

最近、ゲームなどで時間を費やし、子どもの本離れも著しい。本の世界に浸る楽しさを知らない子どもが増えているのではないかと危惧する。家庭で読み聞かせをしてもらえない子どもにも、読み聞かせの楽しさを知ってほしい。読み聞かせのボランティアグループの活動を、今後もぜひ支援してほしい。

- コンピュータシステムを活用したサービスは、今後ますます必要となってくると思われる。スマホなどの利用サービスを充実して、利用者が便利に本を借りられる仕組みを広げていってほしい。

#### 【自己評価】

- おはなし会、子育てサロン・保育所・小中学校への読み聞かせ訪問、みかんぽんぽん文庫、図書館いこいこ！事業、出張図書館など各機関と連携して読書活動を推進したい。読み聞かせボランティア団体との連携をさらに深め、活動が継続できるよう今後も支援していきたい。ブックスタート事業やセカンドブック事業は、保護者が子どもに読み聞かせする機会となるため今度も継続して実施し、読み聞かせの啓発に努めたい。
- コンピュータシステムを活用したサービスについては、引き続き広報や図書館内の案内等により、利用者に対して周知するとともに、更なる利便性の強化についても検討していきたい。